

インターンを見た！

2017年夏 外務省にて

①外務省でのインターンに参加して良かったこと

職員の方の仕事への向き合い方を直接見、お話を聞くことを通し、**将来のキャリアについて真剣に考える機会を得られたこと。**

各課室で少数のインターン生を受け入れて、集中的に面倒を見てくれたため、外務省の業務を近距離で感じられた。(茂野さん)

実際に外務省で働いている様々なバックグラウンドを持つ方々から直接お話を伺うことが出来たこと。(小林さん)

ひと時でも国家の中枢に身を置かせて頂いたことで、「責任感」という言葉の重みをズシリと感じ、社会人への気構えが芽生えました。(渡邊さん)

お昼休みなどを通して、省員の方々の日常生活や人生観などけっこう深い話もお伺いできたことです。(加藤さん)

外務省の様子を知ることができたことはもちろんですが、「保健外交」というまだあまり知られていない分野について深く理解することができ、**自分の興味、視野も広がりました。**(小倉さん)

①外務省でのインターンに参加して良かったこと

日々、外務省で行われていることを実際に目の当たりにし、説明会では知り得なかったような外交の難しさを知り、その反面、おもしろさも知ることができました。

魅力的な職員の方々との出会い、自分のしている仕事が翌日ニュースになるという外務省ならではの臨場感を感じることができたこと。(松岡さん)

外交に対するイメージが変わりました。外務省というと華やかなイメージを持っていましたが、その裏には日々の大変な作業がたくさんあるということを今回のインターンで学びました。(遠藤さん)

ニュースで見る外交は、地道な作業の積み重ねであることがわかった。(杉本さん)

インターンで行ったプレゼンに対して、外交官としての視点からフィードバックをしてくださったこと。(村上さん)

②思い出に残った業務は

外交青書の作成。外務省の出版物の作成に携われたから。(村上さん)

UNWTO(国連世界観光機関)に関する会議に出席させてもらい、官僚の仕事の迅速さや熱意に触れられた。(茂野さん)

作業の一環で100近い国際機関の名称と内容に目を通しました。国際機関は数十機関しかないと思っていたため驚き、どんな機関があるのか学べて有意義でした。(齋藤さん)

SDGs各国進捗状況をまとめ、プレゼンをさせていただきました。一介のインターン生の拙い内容でしたが、室長をはじめとする各班長の方々にもお聞きいただき、その後のディスカッションも非常に刺激的でした。(西島さん)

②思い出に残った業務は

「中央アジア料理動画」の作成です。自分が携わったものが世の中に出て、反応が返ってきたとき、大きな喜びと達成感を感じました。(鳴海さん)

プレスリリース文の英訳。自分の訳した文がホームページに掲載されたことに感動しました。

下訳業務です。専門用語が連なり悩ましい業務でしたが、数人の段階を経て一つの報告書としてHPに公開された時は感動的でした。(渡邊さん)

イベント準備を通して文書作成、英文書和訳、メール、エスコートなど、仕事のやり方を学べたことです。(高岡さん)

視察に同行させていただいたこと。海外から来た看護師・介護福祉士候補生の働く現場や、生の声が聴けて、とても勉強になった。(荻島さん)

③インターン前後で外務省職員の印象は変わった？

はい→これまで抱いていた堅いイメージから柔らかく明るい職場だと認識を改めることになった。

はい→想像以上に省員の方々の個性が多様で、一人一人がその個性を生かしながら組織の中で活躍していたから。(鳴海さん)

はい→外交官の方は、男性の方が多いのかと思いましたがご活躍なさっている女性職員の方々がたくさんいらっしゃって驚きました。(河野さん)

はい→業務がお忙しい中でも、私たちの質問に対していつも丁寧に答えてくださるような、とても優しく気さくな方ばかりでした。(鎌田さん)

はい→忙しい中でも冗談が飛び交い笑顔が絶えない課室であったため、優秀さだけでなく人間味溢れる魅力的な人が多い場所だと感じました。(平山さん)

はい→自身が関西在住でどこか遠い存在で、デスクワークが多いイメージがあったが、実際にお話を伺うことで、人と人との関係の中で外交が成り立っているからこそ、コミュニケーションを大事にしている方々なのだと感じました。
(阪上さん)

③インターン前後で外務省職員の印象は変わった？

いいえ→以前から、外務省には国際社会において日本を代表しているという意識を持ってお仕事をされている方々が沢山いらっしゃると思っていました。(和田さん)

はい→課室の中でも多くの女性が生き生きと働いているということでした。イベント時には、課室が一体となって協力し合い、動いている様子もすごく印象的で、フレンドリーに接してくれるところも私のイメージしていた真面目な外務省ではありませんでした。(真栄城さん)

はい→これまでは自分とは住んでいる世界が違う方々のような気がしていたが、お仕事でもそれ以外のときも本当に親切にいただき、職員の方々をもっと身近に感じられるようになった。(小倉さん)

はい→個人プレイよりもチームでの協力を重視されていて、プロジェクトが完遂した際、喜び合っている室員の方々の姿に感動しました。(高畑さん)

はい→かつては、海外経験が豊富な方が大半で圧倒的有利というイメージを抱いておりましたが、決してそんなことはなく、一定程度の語学力を持ち合わせたうえで、多彩な分野に興味を持ち、常に学ぶことに貪欲でいられる方が多いという印象に変わりました。(菅野さん)

④ インターンが見た外務省をひとことで言うと？

「多角的」です。科学技術という、一見外交に結びつかないように思える方向からもアプローチしています。(石川さん)

一人一人が責任と役割を担って行っている取り組みの積み重ねが、日本の外交に繋がっているところ。

職員の方々が、担当している地域や分野に熱意と誇りを持ち、日本の代表として働かれているところです。(馬場さん)

日本のことのみだけでなく、世界の平和と利益、そして未来も考えているところ。(平出さん)

外務省は職員の皆さんが本当にタフでかっこいいです！(鎌田さん)

総合力の求められる職場です。(菅野さん)

④インターンが見た外務省をひとことと言うと？

各分野のエキス
パートが揃う外交の
最前線。(澤田さん)

一人一人が強い情
熱と使命感を胸に、
常に国民・日本のこ
とを考えながら活動
する、日本外交の心
臓部。(玉澤さん)

仕事に責任と誇りを
持たれて、常に日本
の事を考え、日本を
中心から支えておら
れる方々が集まって
いる場所だと思います。
(和田さん)

日本外交の第一線
であり、職員が皆使
命感を持って懸命に
働いている、外交の
プロ集団である。
(小林さん)

日本と世界の窓口。
(荻島さん)

回答者(順不同)		実習課室
東京工業大学修士	石川健太	軍縮不拡散・科学部国際科学協力室
慶應義塾大学	村上元	総合外交政策局政策企画室
京都大学	茂野新太	国際協力局専門機関室
東京外国語大学	齋藤 純子	総合外交政策局国連企画調整課国際機関人事センター
東京外国語大学	西島幸平	国際協力局地球規模課題総括課
早稲田大学	鳴海 かさね	欧州局中央アジア・コーカサス室
創価大学	馬場大河	軍縮不拡散・科学部軍備管理軍縮課
早稲田大学	河野樹里	総合外交政策局海上安全保障政策室
神戸大学	阪上みずほ	軍縮不拡散・科学部国際科学協力室
順天堂大学	平出恵里衣	国際協力局国際保健政策室
東京大学公共政策大学院	小林薫子	中東アフリカ局中東第一課
慶應義塾大学	鎌田瑚	アジア大洋州局大洋州課
Foothill College	遠藤遥	大臣官房国際報道官室
立教大学	渡邊美那	軍縮不拡散・科学部国際科学協力室
早稲田大学	菅野理彩	軍縮不拡散・科学部国際科学協力室
東京外国語大学	加藤あずさ	大臣官房国際文化協力室
早稲田大学	平山佳奈	中東アフリカ局中東第二課
東京外国語大学	高岡主税	欧州局中央アジア・コーカサス室
中央大学	和田尚也	国際協力局気候変動課
津田塾大学	澤田怜奈	経済局政策課
横浜市立大学	真栄城教子	大臣官房国際報道官室
上智大学	小倉圭織	国際協力局国際保健政策室
早稲田大学	玉澤 恵理	中東アフリカ局中東第一課
早稲田大学	松岡彩乃	大臣官房国際報道官室
東京大学	杉本 優太	経済局政策課
筑波大学	荻島寛法	南部アジア部南東アジア第二課
東京大学	高畑舞	大臣官房国際報道官室
	他4名	

